



春期研修会のご案内

研修内容（要旨は裏面）

平成30年3月24日（土） 10:00～17:00

オープンダイアログと家庭支援

筑波大学医学医療系社会精神保健学 教授 齋藤 環 先生

平成30年3月25日（日） 10:00～17:00

うつ病と認知症をめぐる文化 — 「こころの病」への医療人類学的アプローチ —

慶應義塾大学文学部・(大学院)社会学研究科 教授 北中 淳子 先生

本研修は、家族心理士・家族相談士の継続研修実績（3時間1P）の対象となります。

●会 場 日本女子大学教育文化振興 桜楓会桜楓2号館 4階ホール
文京区目白台1-16-7 TEL.03-3942-6090

●定 員 140名

●申込み
締切り 3月16日（金）

●参加費

	締切り前の振込（税込）	締切り後の振込（税込）	一日のみ参加（税込）
協会員	19,440円	20,520円	各日 10,800円
一 般	23,760円	24,840円	各日 12,960円

※日本家族心理学会会員、学生、院生は会員と同額にします

NPO法人 日本家族カウンセリング協会

東京都杉並区梅里 2-40-16 ビラージュ白井 7F

TEL) 03-3316-1955 FAX) 03-3316-1956 URL) <http://www.j-f-c-a.org>

本研修会は（一社）家族心理士・家族相談士資格認定機構が定める継続研修実績*の対象となりますので、有資格者の方全員に案内しております。

*継続研修実績評価細則第2条(2) b. ワークショップ・研修会（受講者：3時間につき1P）

プログラムの内容

■3月24日(土)

オープンダイアログと家庭支援

齋藤 環(さいとう たまき)先生

フィンランドで生まれた「オープンダイアログ」は、ケアや治療の手法として発展してきましたが、サービス供給システムや対話の思想を指し示す言葉でもあります。この手法を学ぶことで、対人支援のあり方はもとより、日常における人間関係や家族関係も大きく変わることが期待できます。対話の目的は「対話を続けること」そのものです。そこからまるで副産物のように、望ましい変化がもたらされるのです。この機会に皆さんも是非、対話に潜在するパワーにふれてみてください。

【プロフィール】1961年、岩手県生まれ。1990年、筑波大学医学専門学群 環境生態学 卒業。医学博士。爽風会佐々木病院精神科診療部長(1987年より勤務)を経て、2013年より筑波大学医学医療系社会精神保健学教授。また、青少年健康センターで「実践的ひきこもり講座」ならびに「ひきこもり家族会」を主宰。専門は思春期・青年期の精神病理、および病跡学。

著書:『文脈病』青土社、『社会的ひきこもり』PHP研究所、『ひきこもり救出マニュアル』PHP研究所、『ひきこもり文化論』紀伊國屋書店、『生き延びるためのラカン』バジリコ、『ひきこもりはなぜ「治る」のか?』中央法規出版、『ひきこもりのライフプラン』(島中雅子共著)岩波書店、*『オープンダイアログとは何か』医学書院、他多数。

■3月25日(日)

うつ病と認知症をめぐる文化

— 「こころの病」への医療人類学的アプローチ —

北中 淳子(きたなかじゅんこ)先生

20世紀末から世界的に大流行したうつ病は、日本でも社会問題となり、鬱による長期休職者や、鬱の家族を支えて疲弊する人々の数も急増しました。当初、薬物療法が有効な「心の風邪」と語られましたが、慢性化事例が増える中で、現在新たなアプローチが模索されています。また超高齢化社会を迎える中で、自然な老い・鬱・認知症の境界線をどこに引くべきなのか、医師の間でも議論が絶えません。日本と欧米の臨床現場で行った参与観察とエスノグラフィーに基づき、鬱や老いをめぐる文化臨床的アプローチについて考えてみたいと思います。

【プロフィール】慶應義塾大学文学部人間科学専攻教授。専門は医療人類学。シカゴ大学社会科学 M.A., マギル大学人類学部・医療社会研究学部 Ph.D. 慶應義塾大学文学部人間科学専攻助手、准教授を経て、2016年より現職。主著の Depression in Japan: Psychiatric Cures for a Society in Distress. Princeton University Press, 2012(仏語版 2014年、日本語版 2014年)等に対して、アメリカ人類学会のフランシス・シュー賞他複数の賞を受賞。

著書: *『うつ病の医療人類学』日本評論社、*『精神医学の哲学2: 精神医学の歴史と人類学』(鈴木晃仁・北中淳子編著) 東京大学出版会、他多数。

*プロフィール中の著書名に*がついたものを当日頒布します

□ **申込み方法** 参加費のお支払いをもって申込みとします。同送の振込用紙、または郵便局備え付けの振込用紙にて下記の必要事項を記入のうえ、参加費をお振込みください。

※ **通信欄に** ①参加日 ②お弁当予約 ③会員/一般(学会員、学生・院生の方はその旨明記) ④職業(一般の方のみ) ⑤資格(家族相談士、家族支援士、家族心理士)を明記し、お名前、ご住所、連絡先を必ずご記入の上お振込みください。

※ **参加費受領確認後、受講票をお送りいたしますので当日お持ちください。**

※ **お振込みから10日過ぎても受講票が届かない場合は協会事務局までお問い合わせください。**

□ **振込先** 郵便振替口座 No.00130-8-352278
加入者名 日本家族カウンセリング協会研修会

□ **キャンセル** 申込み締切り日までのキャンセルは参加費全額返金、開催日前日までは半額返金します。(但し事務手数料1000円および振込手数料分を差し引かせていただきます。) なお、連絡なく欠席の場合は参加費の返金はいたしません。

□ **昼食** 希望者にはお弁当(一食800円 飲み物付)の予約を申し受けます。振込用紙の記入欄にチェックし、参加費と一緒に申し込みください。(会場への昼食の持ち込み可。周辺に飲食店は少ないです。)

□ **その他** **締切日以降の参加申込は必ず事務局に申込状況をお問合せ下さい。**

□ **会場は空調の設備上、室温の微調整ができませんので、各自着衣で調整をお願いします。**

◆交通案内

JR 山手線 目白駅 徒歩 20分

目白駅前よりバス (約5分)

新宿西口・椿山荘行き 都バス(白61)

日本女子大前下車(5つ目)

東京メトロ副都心線 雑司ヶ谷駅(3番出口) 徒歩8分

東京メトロ有楽町線 護国寺駅(4番出口) 徒歩15分

